



【第6回】ALSOプロバイダーコース in ベルネット

安全・安心なお産を支える医師、助産師、看護師、その他の医療スタッフはより高い知識と技術を身につけ、そして個々の力を集結させて強力な医療チームを構築することが重要です。

ALSOとは、医師やその他の医療者が、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。

1993年に米国家家庭医学会によって正式に認可され、現在アメリカではほとんどの分娩施設において、分娩に携わる医療スタッフがALSOの受講を義務づけられています。また、本プログラムは極めて高く評価され、現在では世界的に普及しており、これまでに63ヶ国以上の国で開催されており、16万人以上がALSOコースを完了しております。日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国38の都道府県でコースが開催され、コース修了者は10,000名を超えております。(2019年8月31日時点) 参加者は、産婦人科医、助産師や看護師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医をはじめ他科医師や救急救命士、研修医、そして医学生などであり現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急にかかわる可能性のあるすべての医療人が参加しています。

プロバイダーコースは2日間。周産期救急現場における対処法についてのレクチャーとシミュレーターを用いた実技学習のワークショップです。補助経陰分娩、肩甲難産、分娩時異常出血、分娩中の胎児監視、骨盤位分娩、妊婦の蘇生、チーム医療の実践に必要な様々なスキルなどを学ぶことができます。

コース終了後には、筆記試験とメガデリバリー(実技試験)があります。プロバイダーコース全日程、試験を完了した際、AAFP(American Academy of Family Physicians 米国家家庭医学会)によって認可された5年間有効の認証を受けることができます。

さあ、安全・安心なお産を提供するための自信と勇気を皆さま一緒に学び、身につけませんか？

職種や地域を越えた、皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

日時 2020年6月27日(土)～28日(日) ※両日ともに8時開始予定/終了時刻は6月27日19時、28日18時予定

会場 名古屋市立大学 臨床シミュレーションセンター

対象 医師(産婦人科医、小児科医、新生児科医、プライマリケア医、麻酔科医、救急/集中治療医、研修医など)
助産師、看護師など

受講料 40,000円

募集人数 30名(一般公募あり)

主催 医療法人 葵鐘会

共催 NPO法人 周産期医療支援機構

【一般公募の受講申込方法】

2020年3月2日(月)正午～3月13日(金)正午までの期間で、受講者を募集します。

※締め切り時期は目安です。応募多数の場合、締め切り予定を繰り上げますので、お早めにお申し込み下さい。

以下のURLの受講生募集フォームからご応募ください。

受講生募集フォーム

<http://kishokai.or.jp/also>



※申込順での受講決定ではありません。

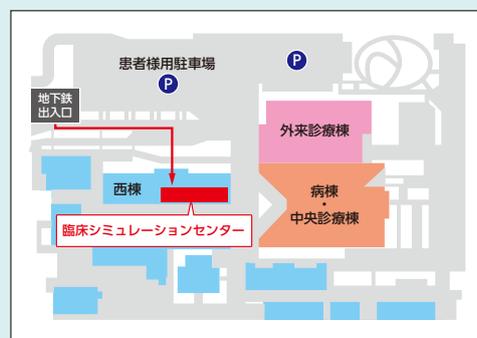
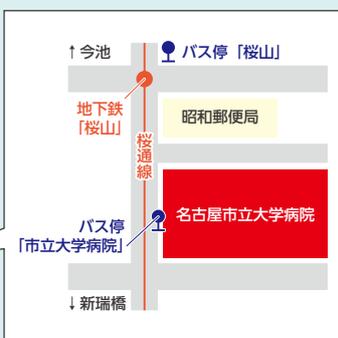
※申込み者多数の場合は、職種・地域バランス等で選考させていただきますので、どうかご容赦ください。

※今後とも開催を重ねて広く受講希望を募っていく予定ですので、ご了承いただきたく存じます。

【交通アクセス】

《会場》名古屋市立大学 臨床シミュレーションセンター

(名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 名古屋市立大学病院 西棟1階)



地下鉄

■名古屋駅(地下鉄桜通線名古屋駅)

地下鉄桜通線「野並」行→(約16分)→「桜山」(市立大学病院)下車3番出口

市バス

■栄バスターミナル(オアシス21のりば)

◎4番のりば

栄26号系統 「博物館」行 →(約25分)→「市立大学病院」下車

■金山市営バスターミナル

◎7番のりば

金山11号系統 「池下」行→(約15分)→「桜山」下車

金山16号系統 「瑞穂運動場東」行→(約15分)→「桜山」下車

金山12号系統 「妙見町」または「金山」行→(約15分)→「市立大学病院」下車

◎8番のりば

金山14号系統 「瑞穂運動場東」行→(約15分)→「市立大学病院」下車

【その他のお問い合わせについて】

医療法人葵鐘会 秘書課 (担当 にいのみ 新家)

住所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-4-15 ORE錦2丁目ビル12階

TEL : 052-265-5741 FAX : 052-265-5742

E-mail : also_sec@kishokai.or.jp

KISHOKAI
Medical
Corporation
*Bell
net*
www.kishokai.or.jp